

書評

恒藤 暁, 岡本禎晃 著

緩和ケアエッセンシャルドラッグ 第2版

済生会横浜市南部病院診療支援部長・薬剤部長

加賀谷 肇

恒藤暁先生, 岡本禎晃先生の執筆による待望の新版が上梓された。

本書は, 言うまでもなく, わが国の緩和医療の第一人者である医師の恒藤先生と, 緩和薬物療法認定薬剤師の第一号である岡本先生の共著である。私は日ごろから, 医学と薬学は薬物治療における車の両輪と思っている。このお二人の息の合った合作は, 永遠の名車のような輝きを放っている。

2008 年の初版本を私はグリーンブックと呼び, 座右の書として愛用してきた。このたび, 装丁をオレンジに変えて登場したので, 今度はオレンジブックと呼称を変更しようと思う。

白衣のポケットにいつも忍ばせておけば, 緩和医療の現場で患者の症状マネジメントを行う際に, 専門知識と安心感を与え続けられる, 緩和ケア領域のベストセラー書である。

今回の改訂版を手にとって気付いたことを, 以下に列記してみた。

・がんの症状マネジメントと緩和ケア薬剤情報が有機的にまとめられたクイックリファレンスであり, とても使い勝手がよい。

・裏表紙を1枚めくったところに, IV章「症状マネジメントの概説」とV章「エッセンシャルドラッグ」の一覧が掲載され, よりすばやく目的の項目にたどりつけるようになった。

・がん症状のマネジメントに必須の薬剤情報および薬剤学的特徴が, 最新かつ一層充実した内容に変更されている。

・疼痛, 倦怠感, 悪心・嘔吐など, 18 症状の概念・アセスメント・マネジメントとケアなどの情報が簡潔に記されているが, これらは初版の内容より大幅に改訂されている。

・10 薬剤(アブセミド・クエチアピン・セレコキシブ・デュロキシチン・トラマドール・ドンペリドン・フェンタニル経皮吸収型製剤(1日貼付型)・プレガバリン・ミルタザピン・リドカイン)の解説が新たに追加された。

・情報量が増えているにもかかわらず不思議なくらいコンパクトサイズで, しかも必要な情報を見つけやすいレイアウトになっている。

・ポイントがより明確になった。例えば, フェンタニル経皮吸収型製剤の1日貼付型製剤と3日貼付型製剤の換算などは実に覚えやすく記載されている。デュロテップ MT パッチの含有量(2.1 mg)の下1桁の数字がフェントステープにおける含有量(1 mg)であることや, デュロテップ MT パッチの含有量の 40% がワンデュロパッチの含有量($2.1 \text{ mg} \times 40\% = 0.84 \text{ mg}$)であることなどは, とてもわかりやすい。

著者のお二人は, 症状マネジメントが緩和ケアの出発点というコンセプトのもと, 症状マネジメントの必須薬が本書に収載されているエッセンシャルドラッグであり, これを習得することが緩和ケア実践の近道であると述べている。

緩和医療に携わる医師・薬剤師・看護師はもちろんのこと, これから緩和ケアにかかわる医学学生, 薬学生, 看護学生にも, 臨床で必携の一冊としてお勧めしたい。

〔三五変 頁 328 2011 年 定価 2,310 円(本体 2,200 円+税 5%) 医学書院刊〕